

令和 6 年度 郡市医師会 産業保健担当理事・産業医部会合同会議

と き 令和 6 年 12 月 19 日 (木) 15:00 ~ 15:30

ところ 山口県医師会 6 階 会議室

[報告 : 副会長 中村 洋]

郡市医師会産業保健担当理事協議会

1 協議事項

(1) 県医師会主催・郡市医師会協力による産業医研修会について

中村 令和 5 年度は 7 月から開催し、18 回の研修会を実施した。令和 6 年度は 6 月以降の開催、18 回の研修会を企画しており、これまでに 15 回開催している。研修内容は、基礎後期・生涯更新の研修 2 回、基礎実地・生涯実地の研修 9 回、基礎後期・生涯専門の研修 7 回を予定している。来年度の郡市医師会協力による産業医研修会の実施については、令和 7 年 1 月中旬に産業医部会の各支部に対し研修希望の調査を行う予定である(令和 7 年 1 月に通知済み)。

(2) 医師会会員情報システム MAMIS 産業保健分野の運用について

中村 令和 6 年 10 月 30 日に、全国の医師会の会員管理を担うシステムとして医師会会員情報システム MAMIS (マミス) が公開された。令和 7 年 4 月から、産業医資格をもつ会員向けのシステムである。有効期限、単位取得状況の確認や、事務局向けの研修会申請・登録機能などが使用できる予定である。また、新規・更新手続についても、従来の複写式届出用紙を廃止し、MAMIS 上で手続きを行う。MAMIS を利用するためには各個人でマイページを作成し登録完了することが必要であるが、医師会員はマイページが既に作成されているため、ログイン手続きをすることで登録が完了する。今後、取得した単位の管理はすべて MAMIS 上で行うため、医師会未加入者も MAMIS の登録が必要となる。また、個人のメールアドレスの登録が必要である。

また、MAMIS の研修会管理機能開始前の研修会で取得した単位については、従前の紙の単位シールの管理となるので、保管していただくよう周知していただきたい。

研修会主催事務局においては、4 月から研修会の開催登録、参加募集、出欠管理の機能を利用することができる。研修会登録の利用方法詳細については、後日日本医師会のホームページに掲載される予定である。

MAMIS を用いた研修会の流れは、まず主催者が MAMIS 上に研修会を登録し、日医の承認を得た後、受講者を募集する。研修会終了後、事務局が参加者名簿を主催者へ提出し、MAMIS に登録する流れとなる。

令和 7 年度の郡市医師会における研修会から、MAMIS での研修会申請や単位管理が開始されるため、ご協力をお願いしたい。

(3) 認定産業医更新に係る特例措置の終了について

中村 コロナ禍においては、山口県内でも感染の拡大状況により中止となる研修会があったが、過去 2 年間では研修会を計画通りの回数実施することができている。全国的に見ても令和 5 年の生涯研修会の実施件数はコロナ前より回復しており、この状況を踏まえて、日本医師会より、2027 年度末をもって特例措置を終了することが発表された。

特例措置を利用して更新期限を延長されている先生方においては、お手元にある最新の認定証の有効期限に対応する必要な更新回数を各自確認し、2028 年 3 月までに必要な回数更新していただく必要がある。全国医師会産業医部会連絡協議

会のウェブサイトにおいて、認定証の有効期限を入力すると必要な更新回数が確認できるページが開設されているため、ぜひ活用していただきたい。また、コロナ特例適用中の方が 2028 年末にかけて必要単位を充足させるために、研修会の受講希望者が大幅に増加する可能性がある。早めに単位を修得するように呼び掛けていただきたい。

また、本会においては更新予定者に対して周知を開始しており、日医通知文書をもとに、郡市医師会へ特例措置終了について通知し、各医療機関へ周知をお願いしている。

また、令和 7 年 1 月の更新予定者より、特例措置の終了について通知している。現在特例措置を使用している産業医に対しても、順次通知している。

(4) その他

中村 産業医科大学主催「産業医のための過重労働対策セミナー」について説明する。本研修会は、日本医師会認定産業医資格の更新に必要な単位のうち、生涯研修の更新・実地・専門各 3 単位を取得できる研修会として、8 月 17 日に開催し、87 名の参加があった。次回開催については未定となっているが、開催する際には周知をお願いしたい。

産業医部会理事会

1 協議事項

(1) 部会の役員等について

山口県医師会産業医部会規則より、役職決定を部会理事の互選により行い、部会長を引き続き防府支部長の山縣三紀 先生、副部会長を山口支部長の鳥居廣明 先生に決定した。

(2) 令和 6 年度全国医師会産業医部会連絡協議会について

中村 令和 6 年 6 月 5 日に行われた標記協議会の議題「日本医師会の取組」について報告（協議会報告詳細は、本会報令和 6 年 9 月号 670 ～ 676 頁に掲載）。

(3) 各地域産業保健センターの現状について

田口所長より、「令和 5 年度産業保健活動総合支援事業（地域窓口）事業実績」及び、「山口産業保健総合支援センターにおける取組」について報告いただいた。

出席者

郡市医師会担当理事

大 島 郡 野村 壽和
熊 毛 郡 満岡 裕
吉 南 三好 正敬
美 祢 郡 吉崎 美樹
下 関 市 佐々木義浩
宇 部 市 加藤 圭彦
山 口 市 鳥居 廣明
萩 市 宮内 嘉明
防 府 山縣 三紀
岩 国 市 祖田由起子
山陽小野田 関 耕三郎

光 市 田村 健司
柳 井 吉田 一典
長 門 市 村田 高茂
美 祢 市 中元 起力

産業医部会

防 府 山縣 三紀
山 口 市 鳥居 廣明
岩 国 市 祖田由起子
小 野 田 関 耕三郎
下 関 市 佐々木義浩
萩 市 村田 高茂

県医役員

会 長 加藤 智栄
副 会 長 中村 洋
理 事 藤井 郁英
理 事 吉水 一郎